ギニア月報（2025年4月）

主な出来事

【内政】

- 1日、ドゥンブヤ暫定大統領は、9月21日に国民投票を実施する旨発表。
- 9日、憲法草案が国民暫定評議会（CNT）で可決される。
- 10日、政党53党がドゥンブヤ暫定大統領を支持する「愛国勢力連合（Alliance des Forces Patriotiques）連合」を形成。
- 15日、ギニア全土及び在外公館で選挙人登録が開始される。
- 23日、MoDeL 党首のアリウ・バー氏に対し懲役5年が求刑される。判決の言い渡しは5月28日を予定。

【外政】

- 29日、ジュネーブにて、普遍的・定期的レビュー（UPR）の対ギニア審査が開催され、ヤヤ・カイバラ・カバ法務大臣が出席。

【経済（開発協力含む）】

- 4日、Rio Tinto Simfer はシマンドゥ鉄鉱石輸出にかかる重要な湾岸施設の工事が完了した旨発表。
- 11日、欧州投資銀行はギニアの水道事業について、2.2億ユーロを援助する。

1 内政

- ・ 1日、ドゥンブヤ暫定大統領は、9月21日に憲法制定の国民投票を実施することを国営テレビの放送で発表。
- ・ 1日、OHCHR 及び Fédération internationale des droits de l' homme (FIDH) 含む NGO 3 団体が、ムッサ・ダディス・カマラ氏に恩赦を与える大統領令を批判。同月13日、カマラ氏はギニアを去ったことが報道される。
- ・ 2日、ギニア政府は在外公館などにおいて計36の選挙区を設けると発表。
- ・ 3日、バ・ウリ首相は、来年より地方においてもパスポート発給を可能にすると発表。
- ・ 4日、政党 UFDG のゲゲドゥ市及びベイラ市の代表は、セルー・ダレン・ディ

アロ党首に対し名誉党首の役職に移行することを求める覚書を発出。これに対し、コナクリ市内の UFDG 地区代表から、同氏支持の声が寄せられる。

- ・ 5日、本年1月5日に逮捕された UFDG 党員のティエルノ・ママドゥ・バー氏及びママドゥ・アリウ・ディオヘ・ディアロ氏が釈放される。
- ・ 8日、選挙人登録用の機材 3,000 台がコナクリ空港に到着する
- ・ 9日、昨年末に逮捕された MoDeL 党首のアリウ・バー氏の裁判に関し、弁護団が法廷内での弁論の撮影を求めるも裁判所に拒否される。
- ・ 9日、国土行政・地方分権省 (MATD) 政治・選挙行政局長は、MATD が当面の選挙を運営することを発表。
- ・ 9日、法律専門家による修正が加えられた憲法草案が国民暫定評議会 (CNT) に提出され、可決される。
- ・ 10日、政党 53 党はドゥンブヤ暫定大統領を支持する「愛国勢力連合 (Alliance des Forces Patriotiques) 連合」を形成。
- ・ 14日、210 億ギニアフランの新札を輸送する車両が何者かに襲撃される。
- ・ 14日、MATD は全国民に対し、マイナンバーの付与及び無料での生体認証付き身分証明書の交付を開始する。
- ・ 15日、ギニア全土で選挙人登録が開始され、5月30日まで45日間継続される予定。海外では在外公館等において20日間登録が実施される。
- ・ 22日、ギニア中央銀行はギニアフラン新札を運送する車両への襲撃事件について、盗難はギニアフランの新札の利用に制限をかけるものではないとコミュニケを発出。
- ・ 23日、アリウ・バー氏に対し検察側が5年の懲役を求刑。判決は5月28日に言い渡される予定。
- ・ 26日、ディアミ・ディアロ環境・持続可能な開発大臣は、シマンドゥ鉄鉱山

の開発による環境被害について懸念を示す。

- ・ 26日、マムー市においてドゥンブヤ暫定大統領支援の大規模集会が開催され、アマラ・カマラ事務総長等がスピーチを行う。
- ・ 28日、コナクリ市ラトマ区プリンスロード近辺にて、若者を中心に警察部隊との衝突が発生。

2 外交

- ・ 9日、ファティマ・カマラ漁業・海洋経済大臣は、第11回大西洋岸アフリカ諸国漁業協力閣僚会議（COMHAFAT）に出席。次期議長に選出される。
- ・ 29日、ジュネーブにて、ギニアについて国連人権理事会の普遍的・定期的人権レビュー（UPR）の審査が開催され、ヤヤ・カイバラ・カバ法務大臣が出席。
- ・ 29日、アムネスティ・インターナショナルは、デモ参加者の死亡や暴力的な手段による集会の抑圧などギニアの人権状況を懸念する年間報告書を公開。

3 経済（経済協力含む）

- ・ 4日、Rio Tinto Simfer社はシマンドゥ鉄鉱山の輸出にかかる重要な湾岸設備の工事が完了した旨発表。
- ・ 11日、欧州投資銀行はギニアに対し、水道事業（Projet d'Alimentation en Eau Potable）のため、2,2億ユーロを援助する。
- ・ 27日、ドゥンブヤ暫定大統領が、タネネ市の橋の竣工式に参加。同橋は「ドゥンブヤ将軍橋」と命名される。
- ・ 30日、世界的なボーキサイト価格の暴落を受け、ギニアのボーキサイト産業が深刻な影響を受けていると報道される。

（了）